



第56期中間報告書

株主・投資家の皆様へ

2020年4月1日～2020年9月30日

Interim Business Report



証券コード 3640

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに株主通信をお届けするにあたり、
株主の皆様にご挨拶およびご報告をさせていただきます。

代表取締役社長 轟 一太



当第2四半期業績と通期の見込み

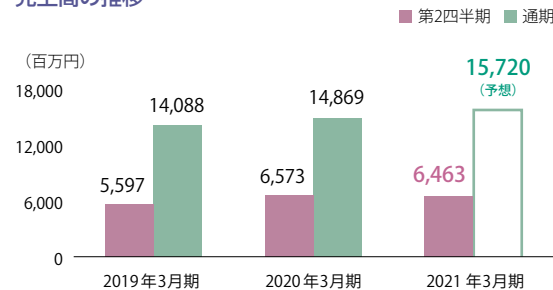
当第2四半期は、前年同期比で売上はほぼ横ばい、利益については増益。2021年3月期の通期業績予想は、変更なし

2021年3月期第2四半期は、公共分野での新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種給付金対応、各種制度改正対応および基幹系システムの導入、産業分野でのリース業務パッケージおよび販売管理システムの導入、機器販売等により、前年同期とほぼ横ばいの売上を確保しました。

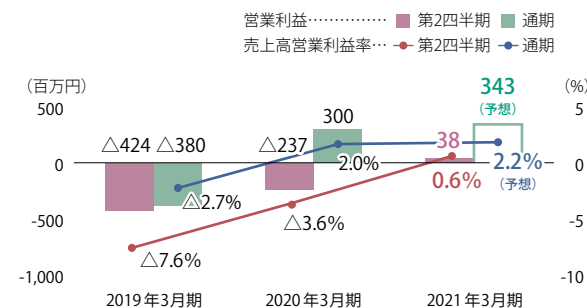
利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、客先訪問を自粛し、Web会議や電話対応による営業活動を推進したことやシステム展示会等を中止としたことで、営業活動費等が減少したことなどから、前年同期と比べ増益となりました。

下期の業績につきましては、売上が下期から上期に前倒しになった案件があること、不確定要素が多いことなどから、2020年5月公表の通期業績予想、売上高157億200万円、営業利益3億43百万円に変更はありません。

売上高の推移



営業利益と売上高営業利益率の推移



(注) 2019年3月期連結会計年度末より連結決算としており、2019年3月期第2四半期の数値は参考として単体の数値を記載しております。

オンラインセミナー

毎年7、8月に開催している「Densanソリューションセミナー」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、今年中止しました。このセミナーはお客様との対面を大切に、会場で最新動向を踏まえた講演やシステム展示を行っていましたが、今年はオンラインによるセミナーを初めて企画しました。

テレワークやペーパーレス、働き方改革といった社会的ニーズに合ったテーマを設定し、システム製品を活用したソリューションを提案したほか、情報セキュリティに関するセミナーも開催しました。全国の地方公共団体・企業から多くの参加があり、新しいお客様とのつながりも生まれています。今後もオンラインセミナーを継続して開催してまいります。

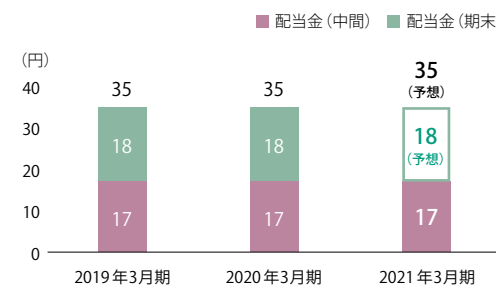
新型コロナウイルスの影響により、人々の意識や生活様式、働き方が変化しています。内閣が構想しているデジタル庁の創設によって、その変化はスピードを上げています。当社は、これからも変化に迅速に対応し、お客様の課題に寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。

開催したセミナーテーマのご紹介

- 庁内事務のデジタル化を推進 ～ワークフローシステム「Dugong」紹介セミナー～
- 「自治体情報セキュリティ対策の見直し」への対応のポイント
- 地方自治体のデジタル化推進 ～ニューノーマルを見据えた自治体サービスのあり方～



配当金の推移



当期の配当について

当社は、株主様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けた上で、経営体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の確保および毎期の業績に基づき配当政策を実施しております。2021年3月期は、1株当たり中間配当を17円とします。なお、期末配当予想は18円としており、合わせて年間35円となる予定です。

新サービス紹介



Observe AI

2020年6月、 AI外観検査システム 「Observe AI」をリリース

Observe AIは、AI^(※)を活用した外観検査システムです。

カメラで撮影した画像を解析して、製品の寸法を測定したり、AIが異常の有無を瞬時に判定したりします。他社の外観検査システムの多くが、膨大な学習データを必要とするのに対し、Observe AIは最少で数十枚の良品のデータだけで運用を開始できます。手間がかからず導入が容易なことから、多品種少量生産の製造業にも向いています。操作性にこだわり、AIの専門知識がない担当者でも操作が直感的にできることもObserve AIの強みです。

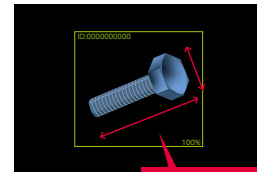
※ AI(Artificial Intelligence：人工知能)
人間が使う自然言語を理解し、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするソフトウェアやシステム等のこと



高精度カメラで対象物を撮影

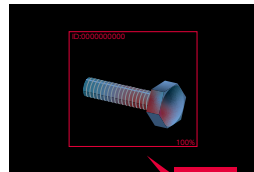
活用シーン

☒ 画像中の物体を識別して計測したい

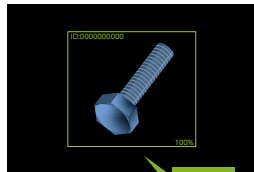


寸法測定

☒ ターゲットの不良を検査したい



NG



OK

Observe AIが生まれるまで

開発の土台になったのは、以前から進めていたAIによる顔認証システムの研究でした。長野県内最大の工業見本市である「諏訪圏工業メッセ2018」への出展内容を検討する中で、多くの製造業が外観検査に大きな問題を抱えていることが分かりました。そこで部品の数や形を認識できる試作品を開発・出展したところ、多数の反響があり、本格的にAI外観検査システムの開発を進めました。翌年の同見本市では、その後に実証実験を行うことになる企業と結び付き、製品化へとつながりました。地元の長野県は製造業のすそ野が広く、AI・IoTを活用するための十分な伸びしろを残している背景も推進力になっています。

特長



少量の良品画像でAI作成

最少で数十枚の良品画像データから
AIの作成が可能



直感的操作で検査手順を作成

直感的な操作で
AIと検査手順の新規作成が可能

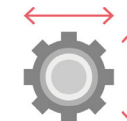


未知の欠陥を検出

AIが微細な異常や
未知の欠陥を検出



外観検査
(キズの検出など)



寸法測定

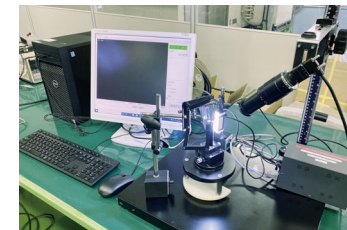
外観検査と寸法測定を瞬時に実行

複数のカメラで外観検査と
寸法測定を瞬時に実行可能

今後の見通し

現在、長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門様との共同研究に参画しています。県内企業の生産性向上を目指す研究で、県内2社の生産現場でObserve AIによる検証が実施されています。

今後もAI・IoTを活用し、社会課題の解決と地域活性化につながる事業を、お客様のニーズに応じて柔軟に、そして迅速に対応しながら進めてまいります。



検証の様子

お客様の声

株式会社石原産業様(本社：長野県上田市)は、精密加工、金型製作、精密部品加工を行っています。今回、生産現場で使用するドリルの摩耗度や交換時期の判定を、Observe AIで検証しました。

▶ ご担当者様のコメント

当社では多品種少量の加工が多く、材料が頻繁に変わります。そのため工具の交換や廃棄の時期は熟練者の目視に頼り、人により判断が変わります。実証実験では、工具先端の画像からAIで良否の判定ができるまで検証が進みました。実用化と今後の可能性に期待しています。



株式会社石原産業様 工場

導入事例紹介

長野県教育委員会様

学習支援ポータルサイト「まなびすけ信州」



長野県教育委員会様は2020年8月1日、児童・生徒のための授業動画や、教職員向けの研修動画をまとめた学習支援ポータルサイト「まなびすけ信州」を開設しました。自宅での学習支援や、教職員研修のオンライン受講を目的としています。当社はこのポータルサイト構築業務を支援しました。

このサービスは、当社製品の電子ブック作成・公開システム「AirLibro」をはじめ、動画データを安全に管理するために当社データセンターの「ホスティングサービス」を利用しています。児童・生徒向け動画は、学年や科目別に計400本ほどの動画を格納。教職員向けの研修動画は、IDとパスワードで閲覧を制限し、対象以外は非公開とするなど、利用目的に応じ対応しています。

3月には新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、全国の学校が臨時休校を余儀なくされました。これからは教育現場におけるICT利活用がますます加速することと思われます。当社の持つ技術やサービスをかけ合わせ、教育分野にソリューションを提供できるよう今後も積極的に取り組んでまいります。

長野県長野市様

復興祈念事業 被災地の今を知る「デジタルスタンプラリー」

長野県長野市様は、昨年10月の令和元年東日本台風の被災地や周辺施設を巡るデジタルスタンプラリーを開催しました。新型コロナウイルス対策として「3つの密」を避けるため、自家用車などで移動し、スタンプの押印をデジタル化した新しい様式のスタンプラリーです。

当社はこの企画の提案から専用サイトの作成、デジタルスタンプを管理するシステムの構築、運用などで関わりました。専用サイトでは、被害状況や復興状況を映像や音声で紹介。チェックポイントでQRコードを読み取り、スタンプを押すごとに、画面の折り鶴のイラストが着色されます。視覚的にもスタンプ集めが楽しめるよう工夫しました。

今後は観光分野へのシステム展開も視野に入れ、企画・提案を進めていきます。



ハート型のQRコードを読み込んでスタンプ押印



デジタルスタンプラリートップページ
(スマートフォン用)

トピックス

ハタラクエール優良福利厚生法人に選ばれました

2020年6月、福利厚生が充実した法人を表彰・認証する制度「ハタラクエール」に、当社が認証されました。福利厚生の制度や運用の充実が評価され、「制度・運用充実部門」で表彰を受けました。働きやすい環境を整備することでさらなる生産性の向上を図り、より良いサービスの提供に努めます。



連結財務ハイライト

収益について

	前第2四半期累計 自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日	当第2四半期累計 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日
① 売上高	(百万円) 6,573	6,463
② 営業利益又は 営業損失 (△)	(百万円) △ 237	38
経常利益又は 経常損失 (△)	(百万円) △ 237	41
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	(百万円) △ 186	9
売上高営業利益率 (△は損失率)	(%) △ 3.6	0.6
1株当たり四半期純利益 又は四半期純損失 (△)	(円) △ 33.45	1.75

① 売上高

公共分野の新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種給付金対応、各種制度改正対応および基幹系システムの導入、産業分野の各種パッケージシステムの導入等により売上を確保したものの、前年同期に比べ1.7%減少し、64億63百万円となりました。

② 営業利益又は営業損失

新型コロナウイルス感染症の影響により、客先訪問を自粛しWeb会議等による営業活動を推進したこと、システム展示会等中止としたことにより営業活動費が減少し、38百万円の営業利益となりました。(前年同期は2億37百万円の営業損失)

③ 資産

総資産は、前期末と比較して13億63百万円減少し、173億30百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、現金及び預金等が減少したことによるものです。

④ 負債・純資産

負債は、前期末と比較して13億6百万円減少し、98億53百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金、買掛金、長期リース債務等が減少したことによるものです。
純資産は、74億76百万円となり、自己資本比率は43.0%となりました。

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は6億10百万円で、主な要因はたな卸資産の増加4億21百万円により資金使用したものの、売上債権の減少11億69百万円により資金獲得したことによるものです。

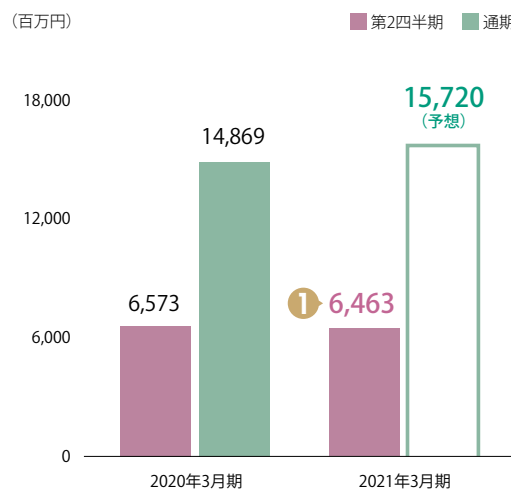
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は4億3百万円で、主な要因は有形固定資産の取得によるものです。

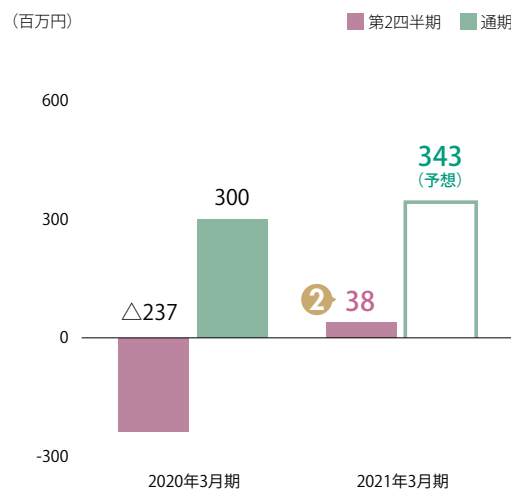
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は3億51百万円で、主な要因は長期借入金の返済および配当金の支払によるものです。

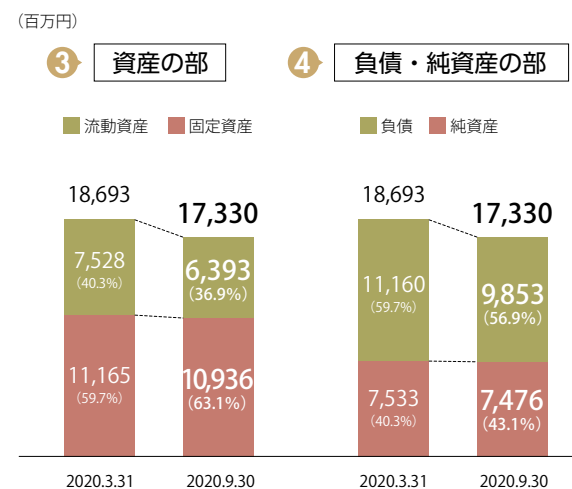
売上高



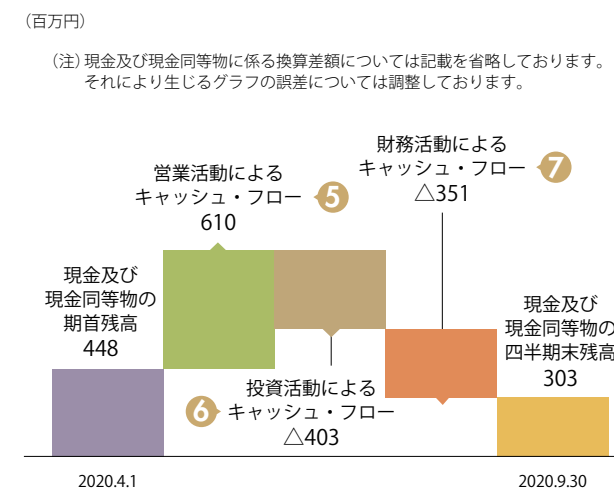
営業利益又は営業損失



貸借対照表の概要

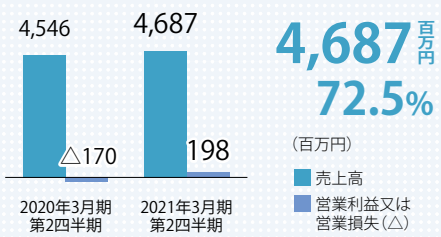


キャッシュ・フロー計算書の概要



セグメント別業績の概況

公共分野

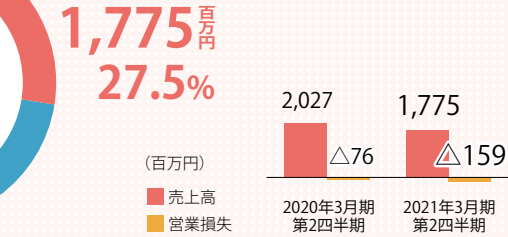


主に地方公共団体および関係する諸団体向けにシステム提供サービス、機器システム・用品販売、情報処理サービス等の各種サービスを提供しています。当第2四半期連結累計期間の主な案件は、以下のとおりです。

- 地方公共団体向けの基幹系および情報系システムのリプレイス
- 各種制度改正対応(新型コロナウイルス感染症対策に伴う各種給付金、介護保険など)
- 基幹系システム共同利用化
- 既存顧客のシステム保守
- データセンターサービス
- 住民税・固定資産税等の一括処理の受託

注) 営業利益(損失)に、報告セグメントに帰属しない全社費用等は含まれません。

産業分野



主に民間企業、医療・福祉機関向けにソフトウェア開発、データセンターサービスなどの各種サービスを提供しています。また一般個人向けにインターネットサービスも提供しています。当第2四半期連結累計期間の主な案件は、以下のとおりです。

- 民間企業向けのリース業務パッケージの導入
- 流通業向けの販売管理システム、製造業向けの生産管理システム等の導入
- 既存顧客のシステム保守
- データセンターサービス
- インターネット接続サービス
- 口座振替、給与計算等の計算処理の受託

会社の概況／株式の状況

(2020年9月30日現在)

会社概要

商 号	株式会社 電算
設 立	1966年3月29日
資 本 金	13億95百万円
事業内容	情報処理・通信サービス、ソフトウェア開発・システム提供サービス、システム機器販売等、その他関連サービス
認証取得	ISO9001 認証取得(本社) ISO/IEC27001 認証取得(本社、データセンター) ISO/IEC20000 認証取得(データセンターサービス部) ISO14001 認証取得(本社、データセンター) プライバシーマーク付与認定
許 認 可	総務省 電気通信事業法に基づく電気通信事業者 厚生労働省 労働者派遣事業 基準適合一般事業主認定(くるみんマーク) 長野県 電気通信工事業 高度管理医療機器等販売業・貸与業
従業員数	736名(連結)

事業所

長 野 本 社	北関東サポートサービスセンター
東 京 支 社	佐渡サポートサービスセンター
新 潟 支 社	上越サポートサービスセンター
佐 久 支 社	
松 本 支 社	
飯 田 支 社	
山 梨 支 社	

役 員

代表取締役社長	轟 一 太	社 外 取 締 役	小 林 秀 明
代表取締役専務	丸 山 沢 水	社 外 取 締 役	小根山 克 雄
取 締 役	河 井 聡 司	社 外 取 締 役	宇都宮 進 一
取 締 役	長 門 博 文	常 勤 監 査 役	橋 本 宣 彦
取 締 役	村 松 文 男	社 外 監 査 役	小 出 貞 之
取 締 役	吉 川 満 則	社 外 監 査 役	宮 坂 直 慶
取 締 役	依 田 頼 和	社 外 監 査 役	石 田 和 彦

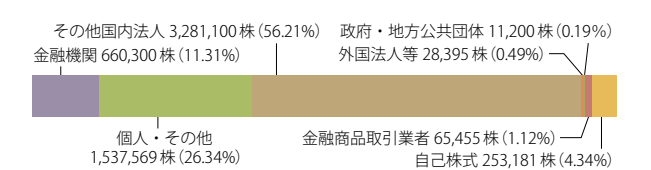
株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株	株主数	7,588名
発行済株式の総数	5,837,200株		

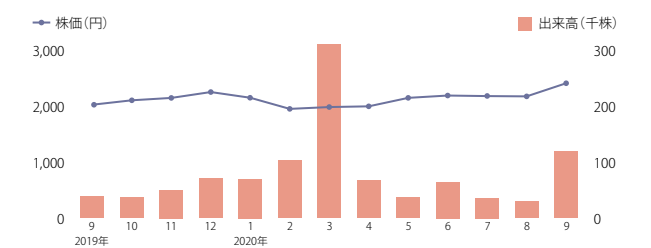
大株主

株主名	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合(%)
信越放送株式会社	2,129,100	38.13
トーテックアメニティ株式会社	587,700	10.52
信濃毎日新聞株式会社	289,200	5.18
電算従業員持株会	243,700	4.36
株式会社八十二銀行	120,000	2.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	116,600	2.09
株式会社長野銀行	101,600	1.82
株式会社エステート長野	92,000	1.65
東芝デジタルソリューションズ株式会社	72,000	1.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	68,100	1.22

所有者別株式分布状況



株価チャート



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-782-031（フリーダイヤル）
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により当社のホームページ（https://www.ndensan.co.jp/koukoku/index.html）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にお申し出ください。



株式会社 電算

〒380-0904 長野県長野市鶴賀七瀬中町276-6
TEL.026-224-6666 FAX.026-219-2600



ISO 9001
JQA-QMA14048
本社



ISO/IEC 27001
JQA-IM0134
本社、データセンター



ISO/IEC 20000
JQA-T10067
データセンター
データセンター
データセンター



ISO 14001
JQA-EM6846
本社、データセンター



株主アンケート

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、下記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用（郵便料金など）の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン（IR 支援会社）が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



ご回答の操作方法等のお問い合わせ先
株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail: kabuhiro@irjapan.co.jp

アンケート
実施期間

2021年
1月31日(日)
まで

アンケートサイト（画面）への接続方法

Yahoo! や Google などから

アンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば

検索

URL **https://kabuhiro.jp/**

ご回答方法

アンケートサイト（https://kabuhiro.jp/）画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面に進みます。

